



俺だっ！レーシング

2023/6/24-6/25

コースコンディション: Rd.3/Rd.4 ドライ

コース: 筑波サーキット(茨城県)

●サマリー

2023年6月24日、25日に開催されたD1グランプリ Rd.3&Rd.4に、若手育成を掲げ、新体制での再始動を果たした「ウエイズトヨタ神奈川 俺だっ！レーシング」が参戦。オーディションによりD1ライセンスから、D1GPへのステップアップを果たした最上弦毅(げんき)が、「エヴァRT 式号機 スーパー」を駆る。最上のD1デビュー戦となった、奥伊吹大会では2戦共に単走敗退と悔しい結果となるも、その走りにポテンシャルの高さを垣間見る事が出来き、上場の滑り出し。今大会ではポイントを獲得し、更なる高みを目指したいところ。最上の成長した走りに、期待が高まる2連戦となった。



●レポート

Rd.3&Rd.4 の会場となったのは、茨城県にある筑波サーキット。同会場で DIGP が開催されるのは、2 年ぶりとなる。競技区間は 2021 年開催時と同様で、最終コーナーから第 1ヘアピンの立ち上がりまでと、シリーズ最長のロングなレイアウトが特徴。2 年前と大きく異なるのは、1 コーナーの通過指定ゾーンがアウト側に設定された点で、2 回の振り出しと、それらを繋ぐ走りの安定性、さらにゾーンをキッチリ通過するライン取りなど、完璧なマシンコントロールが要求される難易度の高いコース設定となっている。今季 DIGP にステップアップしたばかりの最上は、もちろん初走行。適応力の高さを見せつける、絶好の機会となった。



6/24 Rd.3

梅雨晴れの中、ドライコンディションで行われた Rd.3 の単走。最上は、A グループ 7 番目の出走となった。単走 1 本目、勢いよくコースに飛び込み、キッチリとゾーン1を通過。1 コーナーに向けてキレイのある振り出しを披露するも、ゾーン 2 を意識しすぎたライン取りが裏目に出る形でスピンを喫してしまいコースアウト。すぐに体勢を立て直し、フィニッシュラインまで走り切ったが、得点は 71.2 点と下位に沈んでしまう。



追走進出に向け後の無い最上は続く単走2本目、さらに勢いよくコースに飛び込むも、ゾーン1を外す痛恨のミス。ハイパワーマシンを何とか制御しながらも、コースアウトギリギリのライン取りで1コーナーを通過。その後はマシンの安定感を取り戻し、フィニッシュラインを目指すも、ゾーン5に向けた振り出しでリアがコースアウトし、そのままスピン。マシンにも大きなダメージを負ってしまい、コースに復帰することなく終了。得点は72.1で単走敗退と、最高峰カテゴリの洗礼を受ける悔しい結果となった。



6/25 Rd.4

前日に引き続き、ドライコンディションで行われた Rd.4。競技区間も同様ではあるものの、コースアウトが多発した1コーナーとヘアピンのリミットラインを少し内側に変更。それに合わせて通過指定ゾーンも内側に設定され、コースアウトリスクを少し軽減させたレイアウトとなった。この2か所の変更ポイントは前日、最上も苦戦しており、レイアウト変更が追い風となることが期待される。



Cグループ4番目に出走した最上は単走1本目、アグレッシブにコースに飛び込み、1コーナーに向けたキレのある振り出しを披露するも、ゾーン1を外してしまい減点。その後は暴れるマシンを制御しつつ、安定したライン取りでフィニッシュラインまで走り切り、DOSSでの得点は98という高得点を記録。最終結果はJ2でのコースアウト減点と合わせて94と苦戦するが、ゾーンを外さなければ高得点を取れる確信を持つことができ、ポジティブに1本目を終える。ミスの許されない状況に追い込まれた最上は単走2本目、かなり慎重にスタートを決め、キッチリとゾーン1を通過。1コーナーに向けても、キレのある完璧な振り出しを披露するなど、冷静にマシンをコントロールしながらフィニッシュラインまで走り切り、97.1の高得点をマーク。見事14位で、自身初の追走進出を果たした。



単走に続きドライコンディションで行われた追走トーナメント、ベスト16での最上の対戦相手は横井昌志選手(S15)。追走初進出と同時に、早くも師弟対決実現というドラマティックな展開となった。そんな一本目、後追いでスタートした最上は、横井選手の華麗なドリフトに上手く合わせ込み、師匠と遜色ない走りを披露。横井 98:最上 97.5と僅差に迫る実力を証明した。

そして2本目、先行でスタートした最上は、今大会の集大成と言っても過言ではない安定したドリフト走行で、自身のポテンシャルの高さを見せるも、ベテラン横井選手が一枚上手と言った印象。接触ギリギリの後追いに押し負ける形で、ヘアピンでコースアウト。横井 105.5:最上 78と、ディフェンディングチャンピオンの実力を見せつけられた結果となる。2本トータルでの得点も、203.5:最上 175.5と大差での、ベスト16敗退となった。



若手育成を掲げ、2023年シーズンをスタートさせたウエイズトヨタ神奈川 俺だっ！レーシングは、シリーズ4戦目で見事、追走進出。ドライバーやメカニックなどチームが一丸となり、目を見張る成長を果たしています。現在のラインキングは21位。ここからの追い上げに、ご期待ください。

次戦は、8月26日・27日に開催される Rd.5&Rd.6 EBISU DRIFT。

引き続き、俺だっ！レーシングへの応援を、よろしくお願いします。

●最上(ドライバー)コメント



筑波サーキットでの走行は初めてでしたが、チームの皆様が完璧なクルマとチーム体制を準備してくれたおかげで、安心して攻める事が出来ました。土曜日の Rd.3 では単走敗退をしてしまいましたが、日曜日の Rd.4 では初めて追走トーナメントに進出することができ、トップドライバーで師匠でもある、横井選手と対戦出来た事で、いい経験になり、自信にも繋がる良いラウンドになりました。今後は焦らず、常に冷静に走れるドリフトを心掛け、次戦はベスト8を目指して頑張ります。応援よろしくお願いします！

●2023 年ポイントランキング

順位	No.	ドライバー	チーム	machine	ポイント
1	70	横井 昌志	D-MAX RACING TEAM	S15	84
2	31	蕎麦切 広大	SHIBATIRE RACING	Q60	51
3	15	植尾 勝浩	VALINO VAZESTRA	S15	47
4	77	松山 北斗	LenoRacing watanabe	A90	46
5	2	田中 省己	SHIBATIRE RACING SEIMI STYLE D	S15	45
6	46	末永 正雄	D-MAX RACING TEAM	S15	43
7	98	ヴィトー 博貴	DRIFT STAR Racing × RACING GEAR	PS13	42
8	66	藤野 秀之	TEAM TOYO TIRES DRIFT	ZN8	39
9	18	日比野 哲也	SHIBATIRE RACING	ZN8	38
10	45	Chanatpon Kerdpiam	GOODRIDE × NEXZTER	S15	23
11	99	中村 直樹	TEAM VALINO × N-style	ZN8	18
12	79	目桑 宏次郎	TMS Racing Team G-meister	E92	18
13	88	川畑 真人	TEAM TOYO TIRES DRIFT	ZN8	16
14	29	齊藤 悠史	CAR SHOP GLITTER × Carlife ORANGE × Next Dream	S15	16
15	8	桑 哲也	HIRANO TIRE ★ VALINO RACING	S15	15
16	51	岩井 照宜	RS Watanabe SPEED MASTER	FC3S	15
17	52	北岡 裕輔	TEAM MORI	JZX100	14
18	11	村上 満	Repair Create × 326power	ZN8	10
19	87	齋藤 太吾	FAT FIVE RACING	A90	5
20	23	下田 紗弥加	Mercury 車楽人 VALINO	S15	4
21	90	最上 弦毅	ウエインズトヨタ神奈川 俺だっ！レーシング	A90	3
22	7	松井 有紀夫	TEAM RE雨宮 マツモトキヨシ APA	FD3S	3
23	6	内海 彰乃	浅井工業 SP security レーシングチーム	S15	2
24	95	Daychapon Toyingcharoen	TEAM VERTEX × NEXZTER × D2D	JZZ30	2
25	93	加納 広貴	HIRANO TIRE ★ VALINO RACING	S15	2

●エントリー台数●

Rd.1&Rd.2 OKUIBUKI:35台

Rd.3&Rd.4 TSUKUBA:40台